



泉つうしん

阿賀野市立笹岡小学校

令和5年6月12日

No. 4

ホームページ<http://sasaoka-es.agano.ed.jp>

百聞は一見にしかず！

校長 石塚 繁

5月20日（土）は、晴天の下、運動会を開催しました。子どもたちは、保護者や地域の皆様からの声援を受け、力の限り競技したり応援したり頑張りました。子どもたちの感想の中に、「精一杯頑張ったからこそ、嬉しくもあり悔しくもあることが分かった。」と記されていました。大切なことは、悔いのないように頑張ることなんですね。

さて、感染症対策が緩和され、教育活動も以前の状態に戻りつつあります。その中で、学校を離れての校外学習も進めているところです。

そこで、6月の全校集会で、子どもたちに次のような話をしました。

昔、あるところに「百聞（ひゃくぶん）さん」と「一見（いっけん）さん」がいました。百聞さんの得意なことは、百回も話を聞くことができることです。一見さんの得意なことは、1回だけしっかり見ることができることです。

ある日、この2人が「あさがお」をよく調べたいと思い、百聞さんはいろいろな人からあさがおについて教えてもらいました。一見さんはあさがおをじっくりと1回見ました。

さて、ここで皆さんに問題です。百聞さんと一見さん、どちらがあさがおについてよく分かったでしょうか。



百聞さんだと思う人は、手を挙げてください。（約半数の子どもたちが挙手）

一見さんだと思う人は、手を挙げてください。（約半数の子どもたちが挙手）

ことわざに「百聞は一見にしかず」というものがあります。「百回聞くより、1回見た方がよく分かる」という意味です。聞くことも大切ですが、実際に本物を見ることでより分かります。今またはこれから、皆さんは本物を見たり体験したりして学習をしています。1年生は「あさがおの観察日記」。2年生は「野菜の観察名人」。3年生は「地域探検」。4年生は「環境センター見学」。5年生は「稲作体験」。そして6年生は「佐渡体験教室」。

本物を見たり聞いたりして、たくさんのことを発見してください。その時に大切なことは、自分の知りたいことや目的をもつことです。それを忘れないでね。

子どもたちは素晴らしい観察力をもっています。大人では見過ごしてしまうようなことも目を輝かせて教えてくれます。そこで、大人はどれだけ子どもの感動を共感できるかです。大人であっても、私も子どもの心もち続けたいものです。